



ティーンチャレンジ・ジャパン

ニュース 2009年秋号

ティーンチャレンジは麻薬・アルコールその他の依存症を克服するために必要なサポートを提供することを目的としています。



一般社団法人として新しく就任した理事会
後列左から藤村良彦、山中知義、野田詠氏、
ビル・パリス、前列左より木崎智之、船津行雄、
内川寿造（敬称略）

2005年6月に任意団体として設立されたティーンチャレンジは2009年7月13日に「**一般社団法人ティーンチャレンジ・インターナショナル・ジャパン**」となりました。

代表理事には引き続き船津行雄（横浜）、理事には内川寿造（岡山）、ビル・パリス（東京）、山中知義（横浜）、野田詠氏（大阪）、木崎智之（東京）が、そして監事には藤村良彦（藤沢）が就任しました。（敬称略）また本部エグゼクティブ・ディレクターとしては木崎智之が、沖縄更生センター所長としては山城テモテが引き続きその働きを続けていきます。

設立当初から病院や少年院などから相談を受けて連携してきましたが、最近は高校でセミナーをしたり、民放のニュース番組の取材を受けたりするようになりました。今後は一般社団法人として行政や企業ともタイアップしていくことができると願っています。

.....ティーンチャレンジは、今や学校や警察、病院だけでは対応しきれなくなってしまった薬物・アルコール依存症問題に対する.....
.....聖書の解決法を日本社会に具体的に提供していくことを目指して活動を続けていきます。.....

★新インターン・昌貴★

18年にも及ぶギャンブル依存、ホームレスという人生のどん底を経験した昌貴...以下は回復までの体験談「私は18年間ギャンブル依存でした。ギャンブルをする為なら人を犠牲にしても構わないという自己中心的な生き方をしていました。その結果、何もかも失い、ホームレスにもなりました...。」2008年5月にホームレス状態から沖縄更生センターに入学した昌貴。高校を卒業して親元を離れて働き始めた頃にギャンブルの味を覚え、それからは給料全部をつぎ込み足りなくなると借金をしたり家族に嘘をついてお金をもらったりしてギャンブルにのめり込んでいきました。18歳でギャンブルを始めてティーンチャレンジ入学当時36歳。実に人生の半分以上を賭け事でスツてしていました。沖縄に来て最初の3ヶ月はティーンチャレンジのプログラムに馴染めず苦しみましたが、8月に本当に人生をやり直す決心をするとそれから徐々に成長して、今年5月には長年迷惑や心配をかけ続けたにも関わらず祈り続けてくださった家族や親戚の方々にも列席して頂いて感動の修了式を迎えることができました。「周りからは何度もギャンブルをやめるように言われましたが自分の力では不可能でした。しかし、人にはできないことが神様にはできるといことです。これは私が体験した紛れもない事実です。これからは自分と同じような苦しみを抱えている人たちに解決の道があるということを伝えていきたいと心から願っています。」昌貴は今、ティーンチャレンジ・ジャパンのインターンとして、依存症からの回復を目指している生徒たちの指導とケアにあたっています。

生徒としての修了式を迎えた昌貴（左）



！！岡山センター建設計画！！

現在の沖縄更生センターは周りを民家に囲まれた一戸建ての借家で、平屋だった旧センターに比べると部屋数が増えたものの、生徒数の増加によりすでに手狭になっています。1年間のプログラムを修了した生徒がインターンになることを希望することが多く、1年間のインターンシップの後にはスタッフとなるため、彼らの居住スペースも確保していかなければなりません。

そのために10名以上の生徒と4、5名のインターン&スタッフが共同生活できる広さのセンターを設計して建設することが必要です。



使用許可を頂いている土地は岡山空港から車で15分という利便性があるにも関わらずセンター建設予定地の近くには民家がありません。コンビニやタバコの自動販売機も見当たらないという更生センターとして絶好の立地条件を備えています。向かいの田畑を借りて米や野菜を生徒たちで育てることができれば作業療法や食費節減に役立ち、作物を販売して得た収益を運営費に充てることも可能になります。

予算の約半分が既に寄付され、あと400万円で建設を開始することができます。リハビリ施設を必要とする若者達のためにも、今年中に着工したいと願っています。皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。



◆ピン玉ストラップ◆

沖縄の海に浮かぶブイをイメージしたストラップはセンターの生徒が作業療法の一環として作っています。価格は1個500円、2個900円、3個1200円（送料別）で、収益はセンターの運営と生徒の経済的自立支援に当てられています。

関東では新宿オアシス店、関西ではゴスペル・ライト・ストア（和泉）で好評販売中です。

◆支援セミナーテキスト&DVD◆

「依存症者が家族にいるけれど、どのように関わっていったら良いのかわからない...」という方のためのセミナーを収録したDVDとテキストを販売しています。依存症のプロセスや関わり方を詳しく解説しております。価格はテキスト&DVD2000円（送料込み）

ご購入を希望される方は事務局までご連絡ください。



●○女性専用サポート●○

あなたはもっと自由に、そしてもっと幸せな人生を送ることができます。

拒食症・過食症

「痩せたい。なんて醜い体なんだろう」
「食べてしまったら、吐けばいい」
「私の頭の中は、24時間痩せることと、食べること」

買い物依存

「寂しいから買う。
気づいたら、貯金は
なくなっていた」

引きこもり

「人に会うのが怖い」
「私の娘は、
30代の引きこもり」



依存症は男性だけの問題ではありません。むしろ、摂食障害や恋愛依存、買い物依存など女性特有の様々な依存症が蔓延しているのが日本社会です。

ティーンチャレンジでは女性に対しては在宅で行なうサポート体制をとっています。

「病院やカウンセリングをはしごしたけど回復の兆しがない」、「家族や友達に打ち明けるのが怖くて一人で苦しんでいる」、「知り合いに依存症の人がいて助けてあげたいけれどもどうしたらいいのかわからない」

という方はご連絡ください。プライバシーを守りながらご相談に応じます。

専用アドレス↓↓

women@teenchallengejapan.com(無料)



薬物

アルコール

「吸った瞬間に、嫌なことを忘れられる」
「うさ晴らしに飲んだ。
やめられなくなった」

恋愛依存

「彼のためなら
どんなことでもする」

リストカット

「自分を許せない・・・」
「苦しい、誰か気付いて」
「生きるために、切る」



●サポート内容 ※1年間のプログラムの後も、アフターケアを行なうことによって再発のリスクを防ぎます。

セッション

スタッフと実際に会って行なうカウンセリング。クライアントが一週間の出来事や心理状況などを報告することによって間違った思考・行動パターンをモニターし、改善策を一緒に考えます。費用は1セッション(90分) ¥3,000

在宅プログラム

毎日、聖書を読んで学んだことからその日の目標をたて、日常生活の中で実践します。内容はスタッフにメールで送信し、アドバイスを受けます。実践後の振り返りも必ず行なうことによって、学んだことをしっかりと身に付けます。

家族会議

クライアントの家族もサポーターとして機能するために、定期的に集まって進行状況を確認し共通理解を深めていきます。また、クライアントの回復後も家族が円滑な話し合いを行なっていくための練習としても有効です。

●女性サポート担当

田中 亜樹



私は、在宅サポートをうけて実際に摂食障害・リストカットから回復をした体験者です。

現在は、インターンとして女性のサポートをさせていただいています。

「依存症から解放されたいけれど、自分ではどうすることもできない・・・」とお悩みの方は、ぜひ一度ご相談ください。

どのような依存症であっても一生苦しむ続ける必要はありません。私たちと一緒に回復への道を歩んでいきましょう。

●在宅サポート体験談

引きこもり、摂食障害、自傷行為から回復した女性の体験談です

私は、家庭の問題や自分に自信がなかったことから自宅に引きこもるようになりました。そして心の病に何年も苦しみました。自宅にいても父とは顔を合わせる事ができず、また食べ物や母に依存する生活でした。そんな自分へのいらだちから自傷行為も、状態はいつも不安定で毎日が不安と恐れいっぱいでした。それ以外のことは考えられなくなっていました。

そんなとき、教会の牧師先生にティーンチャレンジを紹介されてサポートを受けることになりました。聖書にでてくる神様との関係を良くする(聖書の言葉を信じ、神様の存在を認めてお祈りするなど)ことが大事だということをお教わられました。私はそれまで握ってきた聖書に反する間違った考えや価値観を手放す努力をし、人や物に依存しないように心がけました。

そのうちに少しずつ心の安定を保てるようになりました。外出して人とも話せるようになり、父を避けることもなくなりました。また何かに依存することも減ってきて、心の中の不安や恐れは少しずつ消えていきました。日々の生活に感謝しています。

これからも、ティーンチャレンジを通して学んだ事を忘れずに生きていきたいです。

●クライアント家族の手記

在宅サポートをうけた方のお母さんの手記です

私は以前、「成功のルール」に乗れるように子どもを育ててきました。しかし私の娘は10代の時に家に引きこもるようになりました。気持ちはいつも不安定で、家族は娘がパニックを起こすことをいつも恐れていました。

そんな中、私たちはティーンチャレンジに出会いました。それまでは、自分の考えや意思をもつことのできない依存的な娘でしたが、少しずつ自分で考えて行動することができるようになっていきました。そして、段々と落ち込む状況に直面しても、再び立ち上がる心の「バネ」ができていきました。

聖書を学ぶことでそれまでの否定的な考えは間違っていたことにも気付けるようになりました。プログラム期間中も、周囲が平穏でいられないような状況もありましたが、スタッフの方がいつも前向きな対応をしてくださったのが助けになりました。

また、私自身も娘の変化を見て私の考える成功を求めなくなりました。「これだけ神様が変わってくださったのだから、これからきっと大丈夫」。そのように信じていることができるようになったのです。【いい子】を演じる必要はないことを学んだ娘とは、今は冷静に本音で語り合える関係になったと思います。

依存症に苦しむ人々を解放と幸せに導くティーンチャレンジの動きは皆様からの温かいご支援で支えられています。

ティーンチャレンジ・インターナショナル・ジャパン 三菱東京UFJ銀行 八王子中央支店 普通2281487

沖縄銀行 宜野湾支店 普通1377808 郵便振替 記号10080 番号93099991

エグゼクティブ・ディレクター: 木崎智之

〒193-8799 東京都八王子市散田町 5-27-7 Tel & Fax: 042-668-3306

info@teenchallengejapan.com www.teenchallengejapan.com